

事務事業評価における総括

部 局 名	下水道河川部	記入責任者	大竹 功
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>下水道河川部の政策的事業は 16 事業です。評価の内訳は、9 事業を S 評価とし、5 事業を A 評価、1 事業を C 評価とし、既に事業を終了した 1 事業について、実績なしとしています。C 評価の 1 事業についても、今後の整備事業に必要な用地取得について進捗が図れたことから、すべての事業が順調に進んでいると評価しています。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>各課において目的達成に向けた取組を進めたことが、すべての事業で成果のあがった要因と考えています。</p> <p>昨年度は台風対応等もあり、一部の課で時間外勤務の増加が見られましたが、業務のマニュアル化やコミュニケーションの活性化等を通じ、各職員が時間の有効活用に努め、業務の効率化を進めることができました。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>「茅ヶ崎市下水道整備計画」において重点施策として掲げている、「浸水対策」、「生活排水処理」、「地震対策」については、関連する他部局や市民と連携し、交付金等も活用しながら、効果的かつ効率的な事業を展開します。</p> <p>老朽化している下水道施設の維持管理については、「茅ヶ崎市公共下水道施設維持管理計画」に基づき、予防保全を軸とした改築更新を計画的かつ効率的に進め、限られた財源の中で戦略的な投資を行うことにより、施設の最適化を推進します。</p> <p>下水道事業は、直近の新型コロナウイルス感染症により、下水道使用料収入が減少する等の厳しい財政状況も予測されます。コストとそれに対する収益及び効果を意識し、経営の質の向上を図ります。</p>			